

事業実績シート

1 事業の概要

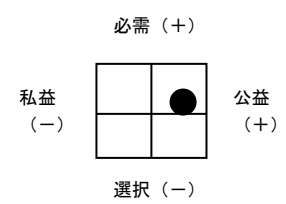
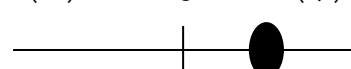
協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	じげたまグランプリ販売促進事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	大村市	商工観光部 商工振興課	松尾 大輔 池田 有希	0957-53-4111(249)
事業期間	開始年	平成14年 4月 1日 (14年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[補助金]			
実施期間	(開始日) 27年 4月 1日 (完了日) 28年 3月 31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名	担当者名	連絡先(TEL)	
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)		
	大村商工会議所 市民 事業者	市民に地元特産品に関心を持ってもらうとともに、地元業者の新商品開発意欲を増進させ、大村市の新しい特産品を生み出し、地域振興及び経済発展につなげる。		
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	第7回じげたまグランプリの開催と受賞商品を市内のイベント等でPR活動及び販売会を開催。 H27.6.7 菖蒲まつりでの販売会(大村公園) H27.9.6 第7回じげたまグランプリ開催 H27.9.12 大村物産市 in 長崎空港 H27.9.18~20 イオン九州(株)大村店でのじげたま商品物産展 H27.11.14~15 コレモおおむら3周年イベント じげたま物産展(コレモ広場) H28.2.11 長崎街道大村藩 宿場まつりへの出店(大村市民会館) じげたまグランプリ パンフレット(1,000部)・ポスター・食品サンプル作成、			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	地元産品を広く市民に紹介する機会を創出するとともに、産品に対する市民の大村産としての誇りと愛着を喚起するための事業として、平成8年に「第1回大村ふるさと産品新作展」が開催され、市民参加型の推奨の機会が設定された。それ以降2年に1度開催されたが、4回目にあたる平成14年から「おおむらじげたまグランプリ」と改称された。			
	(経緯・現状)			
	2年に1度のグランプリだけでは商品開発から販売促進まで継続的な支援につながらないため、グランプリ事業と販売促進事業を隔年で実施することとなった。今年度はグランプリ事業を行った。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		600,000	600,000	600,000				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金	300,000	300,000	300,000				
	一般財源	300,000	300,000	300,000				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	物産展参加数	県産品フェアや市内イベント、大型店舗等での物産展参加数		目標	5	5	5
					実績	3	6	5
					目標達成率(%)	60	120	100
	②				目標			
					実績			
					目標達成率(%)			

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 大村市の新しい特産品を市民等に広く情報発信する機会がなくなり、地元業者の新商品開発意欲の減退につながる。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		コレモおおむら3周年イベントと同時開催で参加し、回数増加につながった。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由) グランプリ事業は継続的に実施していき、グランプリで受賞となった商品を地域ブランド化として定着させるために販売戦略、PR方法の検討をしたい。
	実施予定 期 日		
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		新商品開発や改良、販路拡大は基本的に事業者が行うものであるが、地域を代表する特産品を育て、地域振興につなげていくために、市が関与し、支援する必要がある。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		市と商工会議所が1/2ずつ負担しており、妥当なもの判断する。	

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下		<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	商品開発後の販売促進にも継続して支援する事業とするため毎年実施する事業とし、グランプリ事業と販売促進事業を隔年で実施する。これまでの受賞作を含め継続的に市民等に周知し、展示即売会などを開催していく。				